

令和4年度 第3回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年7月9日(土) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員15名、子どもサポーター1名、事務局3名
- 4 活動内容 (1) 夏休み中の活動スケジュールについて
(2) グループ活動
(3) ねぶた祭での配布物品の準備
(4) 子ども・ユースキャラバン2022について

5 開催概要

夏休み中の活動スケジュールについて

グループ活動に入る前に、夏休み中の活動日について決めました。事前に回答してもらっていたグループLINEの「活動可能な日程アンケート」の結果を参考に、できるだけたくさんの方が参加できる8月15日(月)～17日(水)の3日間で活動を行うことに決めました。

そのほか、ねぶた祭に参加し、子どもの権利の普及啓発活動も行います。

グループ活動

次にグループに分かれて、今後の活動について話し合いました。

○イベントグループ

はじめに、まだ決まっていないチーム名についてみんなで考えました。みんなから出た「イベント」や「イベントィー」「じゃわめぐ 青森」「エンジョイ」「スポーツ」などの案の中から、分かりやすいチーム名ということで「Enjoy Event チーム」に決定しました。これから、自分たちでイベントを企画して実行までがんばりたいと思います。

次に、室内イベントについて考えました。場所は、前回の会議で出た候補の中から、学校の体育館を借りる方向で進めることにしました。10月にスポーツの日があるので、それにちなみ10月中に体育館が空いている日で開催を調整したいと思います。

また、開催の1か月前からチラシを配ったり、Instagramに投稿したり、友だちに声をかけたりするので、8月中にチラシのデザインを決定したいと思います。

場所：甲田中学校の体育館（予定）

日時：10月中 12時～17時で調整中
(イベント時間は13時～16時)

内容：体育館を2面に分ける。

①ドッジボール・バスケットボール・

バドミントンなどのコートを使用するスポーツ

②色おにやスパイおにごっこ、ドロケー、スポーツリバーシ、モルック、大縄、けんりはかせを探せ など、コートを必要としないもの。



次に、地域活性化を目的にしたイベントについて考えました。地域のスポットを巡るウォーキングイベントの開催や、地域活性化イベントに参加して活性化するためのヒントを学んだりしたいと思います。

今のところ、新町・浅虫・浪岡などの地域を考えています。また、その地域にある図書室の紹介なども取り入れられると面白いのではないかと話し合いました。

地域活性化イベントについても、どのように進めていくのか話し合っていきたいです。

○PCAPCA グループ

まずは、今年度初の Instagram 投稿をするため、投稿内容について考えました。昨年の子ども会議フォーラムでは、「#aomori_days」や「#あおもり日和」のハッシュタグをつけて投稿すると、青森市公式 Instagram で子ども会議のアカウントの投稿を紹介してもらえることを教えてもらったので、昨年の活動写真の中から青森市の魅力的な風景やおすすめスポットを選んで投稿しました。

次に、前回考えた訪問先について、手分けして調べました。前回は、休館日などを考えていなかったため、今回決まった8月15日から17日の3日間の日程に合わせて、開館時間を元に行程を練り直しました。

日にち	予定
15日(月)	9:15 駅前のバス停からねぶたん号に乗車 9:23 北のまほろば歴史館到着 北のまほろば歴史館見学 11:28 ねぶたん号乗車 11:54 青森県立美術館到着(昼食は館内の『4匹の猫』で) 青森県立美術館見学 15:02 ねぶたん号乗車 15:40 青森駅到着
16日(火)	11:10 クレオパトラにて昼食 12:40 移動 13:20 八甲田山雪中行軍記念資料館到着 八甲田山雪中行軍記念資料館見学 15:20 移動 16:00 市役所着
17日(水)	9:45 出発 10:45 浪岡到着 浪岡城跡、中世の館の見学 12:30 サンライズ食堂にて昼食 14:00 市役所着





ねぶた祭での配布物品の準備

ねぶた祭りで配布する子どもの権利普及啓発物品の準備をしました。ポケットティッシュに子どもの権利相談センターの携帯カードを入れる作業です。1,000部というとても多い数でしたが、みんなで手分けして作業をしたところ、15分もかからずに終わらせることができました。

このポケットティッシュに、不織布マスクや鈴もセットにしたものを配布する予定です。

子ども・ユースキャラバン 2022 について

7月30日(土)に開催されるセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン主催の『子ども・ユースキャラバン 2022』に、子ども会議委員も何名か参加します。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの山内さんからイベントについての説明があった後、私たちに対してインタビューがありました。

いろいろな質問に対し、みんな思い思いに気持ちを答えました。

「子ども会議に参加した理由は？」

- ・子どもの意見を受け入れてくれるところを調べて、参加してみようと思った。
- ・活動内容を人から聞いたり、Instagramなどを見たりして興味を持った。

「子ども会議で楽しかったことは？」

- ・活動の中でみんなの意見をまとめて、ちゃんと計画を立てられたときに達成感を感じる。
- ・子ども会議フォーラムで大人に直接意見を言えるし、自分たちで提案した内容を青森市のまちづくりに取り入れてもらえる。
- ・学校や学年が離れていても同じ活動を協力してできる。
- ・モヤモヤとか大人への願いなどを伝えることができ、人前で発表が苦手でも、ちゃんと自分の意見を言える。
- ・イベントなどを自分たちで考えたり、調査する内容を決めたりして、活動できる。

「どんなまちにしたい？」

- ・子どもが生活しやすく、虐待のないまち。豊かで平和なまち。
- ・子どもたちの毎日が明るく、楽しく過ごせるまち。遊び場が増えるとうれしい。
- ・子どもの目線から市長に発表し、伝えることができる。
- ・子どもが、政治家とかにも意見を言える。

次回は、『子ども・ユースキャラバン 2022』に向けて、子どもの権利擁護委員による子どもの権利についての講義を受けた後、グループワークを行います。

